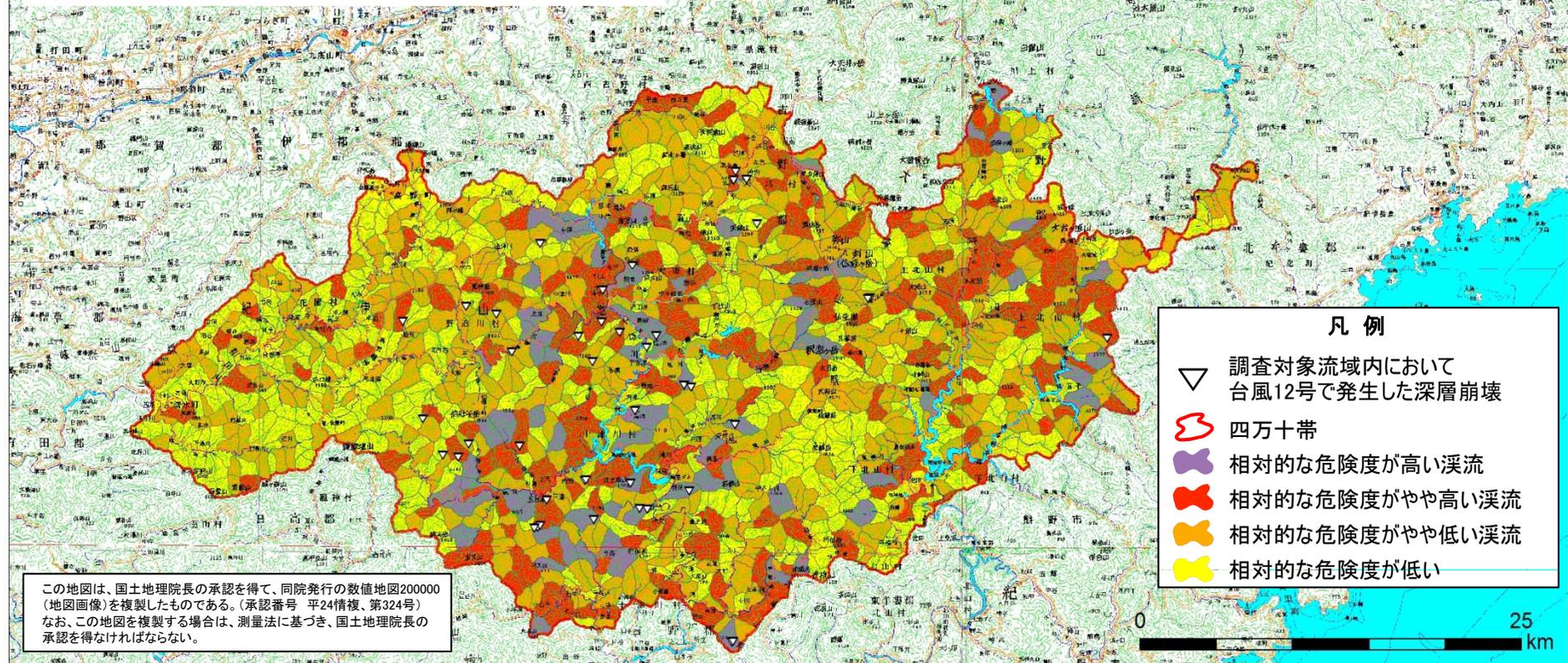


# 紀伊山地における深層崩壊溪流（小流域）レベル評価と 台風12号による深層崩壊発生箇所

(参考資料1)

## <注釈>

- 1.本資料は、国土交通省が作成した紀伊山地における「深層崩壊溪流（小流域）レベル評価マップ」に、平成23年9月の台風12号による深層崩壊発生箇所を示したものである。
- 2.平成23年9月の台風12号で発生した深層崩壊とは、発生した崩壊地のうち土木研究所資料第4115号「深層崩壊の発生の恐れのある溪流抽出マニュアル(案)」で定める事項に加え、崩壊面積が1ha以上でかつ崩壊面が深く削られているような地形とした。なお、台風12号以前から崩壊があることが確認できた場所については、台風12号によって崩壊が拡大したことが確認できたものだけを対象とした。詳しくは以下URL参照。  
[http://www.pwri.go.jp/team/volcano/deep\\_seated Landslides/deep\\_seated Landslides\\_Typhoon12\\_2011.htm](http://www.pwri.go.jp/team/volcano/deep_seated Landslides/deep_seated Landslides_Typhoon12_2011.htm)
- 3.平成23年9月の台風12号で発生した深層崩壊地は、平成24年6月28日時点で入手・閲覧可能な空中写真(縮尺1/10,000~1/20,000程度)および衛星写真により判読したものであり、今後の現地調査等によっては変更される可能性がある。

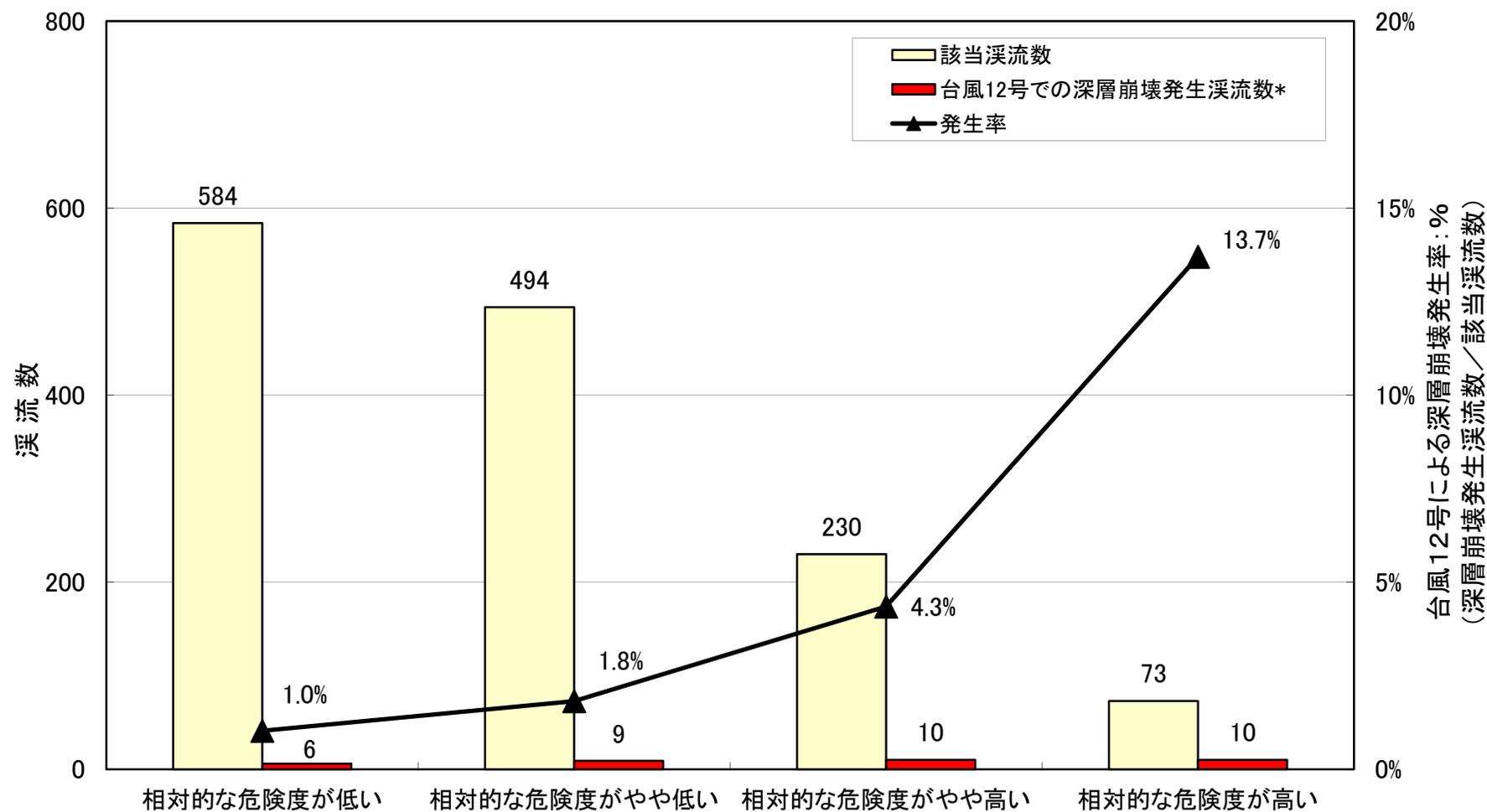


## 凡例

- ▽ 調査対象流域内において台風12号で発生した深層崩壊
- 四万十帯
- 相対的な危険度が高い溪流
- 相対的な危険度がやや高い溪流
- 相対的な危険度がやや低い溪流
- 相対的な危険度が低い

(参考資料1)

### 紀伊山地における危険度別溪流数と台風12号による深層崩壊発生状況



\* 一つの溪流内で複数個の深層崩壊が発生したのも、1溪流として計上している。